

NEC Express5800シリーズ テープブレード AT101b

4

運用・保守編

本機の運用および保守について説明します。

「日常の保守」(58ページ)

日常使う上で確認しなければならない点やファイルの管理について説明します。

「システム診断」(61ページ)

診断ユーティリティの使い方について説明します。

「障害時の対処」(62ページ)

故障かな？と思ったときに参照してください。トラブルの原因の確認方法やその対処方法について説明しています。

「保守ツール」(81ページ)

保守ユーティリティの使い方について説明します。

「移動と保管」(82ページ)

テープブレードを移動・保管する際の手順や注意事項について説明します。

「ユーザーサポート」(84ページ)

本製品に関するさまざまなサービスについて説明します。サービスは弊社、および弊社が認定した保守サービス会社から提供されるものです。ぜひご利用ください。

日常の保守

テーブルブレードを常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

アラートの確認

システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。
ESMPRO/ServerManagerで監視対象サーバの状態色に異常がないこと、アラートが通報されていないことを常に注意するよう心がけてください。

ESMPROでチェックする画面



[ESMPRO/ServerManager]



[アラートビューア]



ESMPROでテーブルブレードの障害状況を監視する場合は、ESMPROとブレード収納ユニットのEMカードでの連携が必要です。詳細については、EMカードのユーザーズガイドを参照してください。

ステータスランプの確認

ブレードサーバの電源をONにした後、およびシャットダウンをしてブレードサーバの電源をOFFにする前に、テーブルブレード前面にあるランプの表示を確認してください。ランプの機能と表示の内容については「ハードウェア編」の「各部の名称と機能」をご覧ください。万一、テーブルブレードや各デバイスの異常を示す表示が確認された場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。

クリーニング

製品および内部のヘッドをクリーニングする方法について説明します。

リード／ライトヘッドのクリーニング

クリーニング要求（SCDに「C」表示）を表示しているときは、本製品内部のリード／ライトヘッドを清掃してください。

添付のクリーニングカートリッジまたは当社製のクリーニングカートリッジ（EF-3237Q）を44ページの「取り扱い」の「データカートリッジのセット」で説明している手順で本製品にセットします。

クリーニングカートリッジをセットすると自動的にヘッドのクリーニングが開始されます。クリーニングが終了すると、自動的にクリーニングカートリッジが出てきます。



- 本製品のクリーニングには、当社製のクリーニングカートリッジ（型番: EF-3237Q）を使用してください。当社製以外のクリーニングカートリッジを使用すると故障の原因となることがあります。EF-3237Pのクリーニングカートリッジは本機には使用できません。
- クリーニングカートリッジは約50回使用することができます。
- クリーニングはクリーニング要求を表示した時にのみ行ってください。
- 使用済みのクリーニングカートリッジを挿入した場合すぐに排出され、Fault LEDが点灯し、SCDに「E」が表示されます。

本体のクリーニング

本製品の外観が汚れたときは、やわらかい布に水または洗剤を含ませて軽く拭いてください。



ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）の薬品で拭くと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤をかけた場合も変形や変色の原因となることがあります。薬品が付着したら、早めに水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

バックアップ

定期的にハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップすることをお勧めします。最適なバックアップ用ストレージデバイスやバックアップツールについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ハードウェアの構成を変更したり、BIOSの設定を変更したりした後は、オフライン保守ユーティリティの「システム情報の管理」機能を使ってシステム情報のバックアップをとってください。

システム診断

システム診断はCPUブレードに対して各種テストを行います。
CPUブレード添付の「EXPRESSBUILDER」の「Tool menu」から「Test and diagnostics」を選択して診断してください。

システム診断の内容

システム診断には、次の項目があります。

- CPUブレードに取り付けられているメモリのチェック
- CPUキャッシュメモリのチェック
- システムとして使用されているハードディスクドライブのチェック



システム診断を行う時は、必ず診断対象となるCPUブレードをネットワークから切り離してください。接続したままシステム診断を行うと、ネットワークに影響をおよぼすおそれがあります。



ハードディスクドライブのチェックでは、ディスクへの書き込みは行いません。

システム診断の起動と終了

システム診断には、ブレード収納ユニットのコンソール（USB接続キーボード）を使用する方法と、シリアルポート経由で接続されている管理PCのコンソールを使用する方法（コンソールレス）があります。

詳しい使用方法は、CPUブレード添付の説明書を参照してください。

障害時の対処

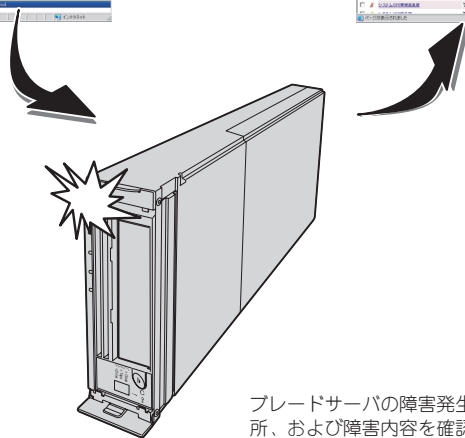
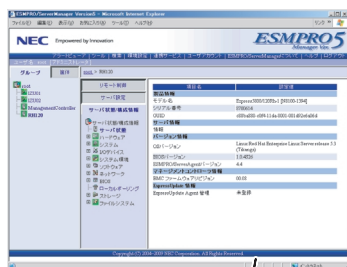
「故障かな？」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することがある場合は、説明に従って正しく対処してください。

障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生装置を確認し、ESMPRO/ServerManagerおよびEMカードのWebコンソールを使って、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。

障害発生箇所や内容の確認ができれば、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を行います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、ESMPRO/ServerManagerおよびWebコンソールが便利です。



ブレードサーバの障害発生箇所、および障害内容を確認



ESMPROでテープブレードの障害状況を監視する場合は、ESMPROとブレード収納ユニットのEMカードでの連携が必要です。詳細については、EMカードのユーザーズガイドを参照してください。

エラーメッセージ

テープブレードになんらかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

POST中のエラーメッセージ

CPUブレードの電源をONにすると自動的に実行される自己診断機能「POST」中に何らかの異常を検出すると、ディスプレイの画面にエラーメッセージを表示します。

POST中のエラーメッセージについては、CPUブレード添付の説明書も併せて参照してください。

ディスプレイ上の エラーメッセージ	意 味	対処方法
Adapter configuration may have changed, Reconfiguration is suggested!	SASコントローラが搭載されているCPUブレードに本製品を新たに接続した場合、POSTにて左記のメッセージが表示される事がありますが、運用上は問題ありません。	—

ランプによるエラーメッセージ

テーブブレードやブレード収納ユニットにあるランプはさまざまな状態を点灯、点滅、消灯によるパターンや色による表示でユーザーに通知します。「故障かな？」と思ったらランプの表示を確認してください。ランプ表示とその意味については「ハードウェア編」の25ページをご覧ください。

Windowsのエラーメッセージ

Windows Server 2003の起動後に致命的なエラー（STOPエラーやシステムエラー）が起きるとディスプレイの画面がブルーに変わり、エラーに関する詳細なメッセージが表示されます。

```
*** STOP: 0x0000000A (0x00000074, 0x00000002, 0x00000001, 0x80108E7A)
IRQL_NOT_LESS_OR_EQUAL*** Address 80108E7A has base at 8010000 _ ntoskrnl.exe
```

画面に表示されたメッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

また、このエラーが起きると自動的にメモリダンプを実行し任意のディレクトリにメモリダンプのデータを保存します。のちほど保守サービス会社の保守員からこのデータを提供していただくよう依頼される場合があります。メディアにファイルをコピーして保守員に渡せるよう準備しておいてください。



重要

STOPエラーやシステムエラーが発生しシステムを再起動したとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのまま起動してください。



チェック

このファイルをメディアにコピーする前に、イベントビューアを起動して、システムイベントログでSave Dumpのイベントログが記録され、メモリダンプが保存されたことを確認してください。

このほかにもディスクやネットワーク、プリンタなど内蔵デバイスや周辺機器にエラーが起きた場合にも警告メッセージが表示されます。メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ

ESMPRO/ServerManager、Universal RAID Utilityなどの管理ツールを本機に接続したCPUブレードや管理PCへインストールしておく、何らかの障害が起きたときに管理PCやCPUブレードに接続しているディスプレイから障害の内容を知ることができます。

各種アプリケーションのインストールや運用方法についてはCPUブレード添付の説明書を参照してください。

ESMPROを使ったシステム構築や各種設定の詳細についてはオンラインヘルプで詳しく説明されています。

仮想LCD上のエラーメッセージ

仮想LCDには、運用中やDC OFF(AC電源はON)の間に発生したエラー内容を表示します。次ページの表を参照して、仮想LCDの意味と対処方法を確認してください。

ブレード収納ユニットのWebコンソールの仮想LCD(16桁×2行)により、管理対象であるテープブレードの状態を表示することができます。

Webコンソールの使用方法は、EMカードに添付のユーザーズガイドを参照してください。



- 保守サービス会社に連絡するときには、仮想LCDの表示をメモしておいてください。保守を行うときに重要な情報となります。
- 保守を行うときにIPMI情報も有用な情報となります。IPMI情報の採取方法はCPUブレード添付の説明書を参照してください。

● STATUSランプが赤色に点滅しているときの仮想LCDの表示、意味、対処方法

仮想LCDの表示	意 味	対処方法
MEZ1 Power Fault	テープブレードのタイプ1スロットに実装されたメザニンカード上の電源回路の異常を検出した。	メザニンカードの取り付け状態を確認してください。 それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
MEZ2 Power Fault	テープブレードのタイプ2スロットに実装されたメザニンカード上の電源回路の異常を検出した。	
AmbientTempAlm09	テープブレード内部の高温異常を検出。	ブレード収納ユニットのファンが正常に回転しているか確認してください。また、ブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照し、ファンユニットの搭載数量、テープブレードおよびファンユニットの実装位置関係を確認してください。 設置環境が動作保証温度を満たしているか確認してください。 それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
AmbientTempAlm02	テープブレード内部の低温異常を検出。	設置環境が動作保証温度を満たしているか確認してください。 それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
BB +1.0v Alm XX BB +3.3v Alm XX BB +5v Alm XX BB +0.9vs Alm XX BB +1.0vs Alm XX BB +1.8vs Alm XX BB +3.3vs Alm XX BB +5vs Alm XX BB +12vs Alm XX Battery Alm XX	テープブレード上の電圧異常を検出。 XXが09の場合上限異常を示す。 XXが02の場合下限異常を示す。	保守サービス会社に連絡してください。

● STATUSランプがアンバー色に点滅しているときの仮想LCDの表示、意味、対処方法

仮想LCDの表示	意 味	対処方法
E-Keying Error	ブレード収納ユニット内において、テープブレード/メザニンカードとスイッチモジュールの実装位置関係の不正により、インターフェース信号の不整合が検出され、電源ONに失敗。	ブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照し、テープブレードおよびスイッチモジュールの実装状態を確認してください。 それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Location Error	ブレード収納ユニットへの、テープブレードの実装位置不正、またはファンとテープブレードの実装位置関係の不正により、電源ONに失敗。	ブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照し、正しい位置にテープブレードが実装されているか確認してください。また、ファンユニットおよびテープブレードの実装位置関係が正しいか確認してください。 それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Cooling Error	ブレード収納ユニットへのファン実装数量の不足、またはファン異常により、冷却能力が不足し、電源ONに失敗。	ブレード収納ユニットのファンが正常に回転しているか確認してください。また、ブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照し、ファンユニットの搭載数量、テープブレードおよびファンユニットの実装位置関係を確認してください。
AmbientTempAlm07	警告レベルのテープブレード内部の高温異常を検出。	設置環境が動作保証温度を満たしているか確認してください。 それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
AmbientTempAlm00	警告レベルのテープブレード内部の低温異常を検出。	設置環境が動作保証温度を満たしているか確認してください。 それでも表示が変わらない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
BB +1.0v Alm XX BB +3.3v Alm XX BB +5v Alm XX BB +0.9vs Alm XX BB +1.0vs Alm XX BB +1.8vs Alm XX BB +3.3vs Alm XX BB +5vs Alm XX BB +12vs Alm XX Battery Alm XX	警告レベルのテープブレード上の電圧異常を検出。 XXが'07の場合上限警告を示す。 XXが'00の場合下限警告を示す。	保守サービス会社に連絡してください。

トラブルシューティング

システムが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従って本機をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイの画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

テープブレードについて

[?] システム起動時にドライブが正しく認識されない

→ システム構成上、正しい位置に接続されているか確認してください。

[?] OS起動後にドライブが正しく認識されない（システム起動時は正しく認識されていた）

→ SASコントローラのドライバが正しく起動されているか確認してください。

[?] 正しくバックアップができない（バックアップソフトはドライブを正しく認識している）

- ☐ テープのライトプロテクトが有効になっていないか確認してください。
- ☐ 正しいデータテープを使用しているか確認してください。
 - LTO5ドライブにLTO1、LTO2のテープを使用していないか、などのドライブとテープの組み合わせは正しいか確認してください。
 - 動作保証のされたテープ（N型番/EF型番テープなど）を使用しているか確認してください。
 - 寿命に達したテープを使用していないか確認してください。
 - エラーの発生していたテープを使用していないか確認してください。
- ☐ 温度・湿度の異なる環境から持ち込んだドライブは、使用環境に十分馴染んでいない場合があります。環境の馴染ませを行ってから使用してください。
- ☐ 空調管理の行われていない環境でシステム起動直後にバックアップを行うと、ドライブが環境に十分馴染んでいない場合があります。環境に十分馴染んでからバックアップするように運用の変更を行ってください（夜間のシステム起動・バックアップ開始などで発生しやすい）。
- ☐ バックアップソフトの設定が正しくされていない場合があります。もう1度設定を確認してください。
- ☐ データテープを新品と交換してください。

[?] 正しくバックアップができない（バックアップソフトがドライブを正しく認識していない）

- ☐ バックアップソフトが正しくインストールされているか確認してください。
- ☐ ソフトウェア同士の競合が発生していないか確認してください。
 - 同時に使用できないデバイスドライバが組み込まれている場合に片方のドライバを外す必要のある場合があります。詳しくはソフトウェア側のユーザーズガイドを参照してください。

【?】 正しくバックアップができない（LEDが点滅している、SCDにエラーを表示している）

- LTOドライブのLED、SCD表示に関する説明を参照してください。
- SCDにクリーニング要求が出ている場合、クリーニング実施後にバックアップを行い、再発するようであればデータテープの交換を行ってください。

【?】 テープが取り出せない（データテープの場合）

- ドライブのEJECTボタンを押下してもテープが排出されない場合は、バックアップソフトによりソフトウェア的なロックがはたらいていることが考えられます。
 - ソフトウェアを終了させてください。
 - システムを再起動してください。
 - 電源のOFF/ONを行ってください。



再度電源ONにした場合、Ready LEDが点灯するのを待ってからEJECTボタンを押して、カートリッジを取り出してください。

- ドライブが何らかの不具合を検出して排出させないようにしていることが考えられます。
 - システムを再起動してください。
 - 電源のOFF/ONを行ってください。



再度電源ONにした場合、Ready LEDが点灯するのを待ってからEJECTボタンを押して、カートリッジを取り出してください。

- ソフトウェアからイジェクトさせた場合、本製品はイジェクト待機状態となり、テープ排出まで実施しません。ソフトウェアイジェクト実行後、イジェクトボタンを押してテープを取り出してください。
- テープの読み取りに時間がかかっている可能性があります。テープの読み取りが終わるまでお待ちください。
- テープがドライブ内部で絡まっていること（テープジャム）が考えられます。テープジャムを起こしたドライブは、内部機構などを傷めている可能性があります。保守サービス会社に連絡してください。

【?】 テープが取り出せない（クリーニングテープの場合）

- 使い切ったクリーニングテープを挿入した場合、あるいはクリーニング中に使い切ったため正常にクリーニングが終了しなかった場合に、それを知らせるためにクリーニングテープが排出されない場合があります。
 - EJECTボタンを押下してクリーニングテープを取り出し、新しいクリーニングテープでクリーニングを再度行ってください。

【?】 テープが排出される（データテープの場合）

- テープの読み取りに時間がかかっている可能性があります。テープの読み取りが終わるまでお待ちください。読み取りエラーが発生した場合はテープを交換してください。
 - 正しいデータテープを使用しているか確認してください。
 - LT05ドライブにLT01、LT02テープを使用していないか、ドライブとテープの組み合わせは正しいか確認してください。
 - 動作保証のされたテープ（N型番/EF型番テープなど）を使用しているか確認してください。
 - 寿命に達したテープを使用していないか確認してください。
 - エラーの発生していたテープを使用していないか確認してください。
 - ヘッドが汚れていた場合、書き込み／読み取り時に失敗しテープを排出する場合があります。クリーニングを行ってください。

【?】電源がONにならない

- ☐ 電源がシステムに正しく供給されていますか？
 - 電源コードがブレード収納ユニットの電源規格に合ったコンセント（またはUPS）に接続されていることを確認してください。
 - ブレード収納ユニットに添付の電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
 - 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。
 - UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPSから電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付の説明書を参照してください。
 - テープブレードと接続するCPUブレードが正しく取り付けられていることを確認してください。
また、CPUブレードのBIOSセットアップユーティリティでUPSとの電源連動機能の設定ができます。
<確認するメニュー：「Server」メニューにある「AC-LINK」>
- ☐ 必要な数の電源ユニットがブレード収納ユニットに搭載されていますか？
 - 必要な電源ユニット数についてはブレード収納ユニットに添付のユーザーズガイドを参照してください。
- ☐ EMカードの初期化は完了していますか？
 - EMカードの初期化が完了していないと、電源ユニットからCPUブレードおよびテープブレードへの電源供給は行われません。
- ☐ ブレード収納ユニットのFANが、必要な数量・正しい位置に実装されていますか？
 - 必要な数量・実装位置については、ブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照してください。
- ☐ ブレード収納ユニット内に、CPUブレード(含むメザニンカード)とテープブレード(含むメザニンカード) およびスイッチモジュールが正しい位置関係で実装されていますか？
 - 正しい位置関係については、「ブレード用メザニンカード」(40ページ) およびブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照してください。
- ☐ CPUブレードおよびテープブレードへの電源供給開始後、30秒以内に電源ON操作を行っていますか？
 - CPUブレードおよびテープブレードへの電源供給開始後、BMC初期化を約30秒間行います。CPUブレードおよびテープブレードへの電源供給を確認後（CPUブレードおよびテープブレードのPOWERランプがアンバー色に点灯後）、30秒以上経過してから、POWERスイッチにて電源ONを行ってください。

- ☐ CPUブレードおよびテープブレードへの電源供給開始直後は、スロット番号の大きなCPUブレードおよびテープブレードほど、電源ONが遅くなります。
 - CPUブレードおよびテープブレードへの電源供給開始後、BMC初期化を約30秒間行います。この直後に、電源ONを行う場合、(スロット番号-1)*2秒の待機時間が挿入される為、スロット番号の大きなCPUブレードおよびテープブレードほど、電源ONが遅くなります。
- ☐ CPUブレードへの電源ON操作からテープブレードの電源がONするまで、時間がかかる場合があります。
 - CPUブレードの電源ON操作を行うとCPUブレードはEMカードと通信し、電源ONの許可を得てから、テープブレードの電源ONを行います。EMカードが他の処理でビジーの為に、通信に時間がかかる場合、電源ONが遅くなります。

【?】 ネットワークを介したリモートパワーオンが機能しない (Wake On LANが機能しない)

- ☐ Wake on LANをサポートしているLANポートですか？
 - テープブレード (含むテープブレードに搭載したメザニンカード) はWake on LANをサポートしていません。

【?】 電源がOFFにならない

- ☐ CPUブレードの電源をOFFにしましたか？
 - テープブレードの電源は、CPUブレードの電源に連動してEMカードが制御しています。CPUブレードの電源をOFFにしてください。
- ☐ CPUブレードのPOWERスイッチ抑止機能を有効にしていますか？
 - いったんCPUブレードを再起動して、BIOSセットアップユーティリティを起動してください。
<確認するメニュー: 「Security」 → 「Power Switch Inhibit」 >

【?】 テープブレードに標準装備のLANのMACアドレスがわからない

- テープブレードのMP接続用コネクタ付近に貼られているラベルで確認できます。詳しくは29ページを参照してください。

【?】 内蔵デバイスや外付けデバイスにアクセスできない (または正しく動作しない)

- ☐ ケーブルは正しく接続されていますか？
 - インタフェースケーブルや電源ケーブル (コード) が確実に接続されていることを確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- ☐ 電源ONの順番を間違っていないか？
 - 外付けデバイスを接続している場合は、外付けデバイス、CPUブレードおよびテープブレードの順に電源をONにします。
- ☐ ドライバをインストールしていますか？
 - 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要な場合があります。デバイスに添付の説明書を参照してドライバをインストールしてください。

- CPUブレードのBIOSの設定を間違えていませんか？
 - PCIデバイスを接続している場合は、CPUブレードのBIOSセットアップユーティリティでPCIデバイスの割り込みやその他の詳細な設定をしてください。(PCIデバイスについては通常、特に設定を変更する必要はありませんが、ボードによっては特別な設定が必要なものもあります。詳しくはボードに添付の説明書を参照して正しく設定してください。)

【?】 OSを起動できない

- CPUブレードのBIOSで正しく設定されていますか？
 - CPUブレードのBIOSセットアップユーティリティで起動デバイスの設定を確認してください。
<確認するメニュー：「Boot」>
- フロッピーディスクをセットしていませんか？
 - フロッピーディスクを取り出して再起動してください。
- OSが破損していませんか？
 - システムの修復を使って修復を試してください。
詳しくはCPUブレード添付の「EXPRESSBUILDER」に格納されているオンラインヘルプを参照してください。

【?】 OSの動作が不安定

- システムのアップデートを行いましたか？
 - OSをインストールした後にネットワークドライバをインストールすると動作が不安定になることがあります。「システムのアップデート」(17ページ)を参照して、システムをアップデートしてください。

【?】 障害発生時、「自動的に再起動する」の設定で、設定どおりに動作しない

- 障害発生時に「自動的に再起動する」の設定にかかわらず、自動的に再起動する場合や再起動しない場合があります。再起動しない場合は、手動で再起動してください。

[?] ネットワーク上で認識されない

- ☐ ケーブルを接続していますか？
 - ネットワークケーブルの接続状態を確認してください。また、使用するケーブルがネットワークインタフェースの規格に準拠したものであることを確認してください。
- ☐ CPUブレードのBIOSの設定を間違えていませんか？
 - ExpressサーバのBIOSセットアップユーティリティでLANコントローラを無効にすることができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
- ☐ プロトコルやサービスのセットアップを済ませていますか？
 - 専用のネットワークドライバをインストールしてください。また、TCP/IPなどのプロトコルのセットアップや各種サービスが確実に設定されていることを確認してください。
- ☐ 転送速度の設定を間違えていませんか？
 - テープブレードに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1Gbpsのネットワークでのみ使用することができます。接続しているHubと転送速度が同じであることを確認してください。

[?] Windows Server 2008 R2のインストールを行うと、以下のようなシステムイベントログが登録される場合がある

イベントID : 134

ソース : Microsoft-Windows-Time-Service

種類 : 警告

説明 : " でのDNS 解決エラーのため、NtpClient でタイムソースとして使う手動ピアを設定できませんでした。3473457分後に再試行し、それ以降は2倍の間隔で再試行します。

→ システム運用上問題ありません。

[?] Windows Server 2008 R2のインストール時、システムのアップデート（Starter Packの適用）時に以下のような警告がアプリケーションイベントログに記録される場合がある

イベントID : 63

ソース : WMI

種類 : 警告

説明 : 'プロバイダNcs2 はLocalSystem アカウントを使うためにWindows Management Instrumentation 名前空間Root¥Intel\NCS2 に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー 要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

→ システム運用上問題ありません。

【?】 Windows Server 2008 R2のインストールを行うと、以下のようなアプリケーションイベントログが登録される場合がある

イベントID : 1534

ソース : Microsoft-Windows-User Profiles Service

種類 : 警告

説明 : コンポーネント {56EA1054-1959-467f-BE3B-A2A787C4B6EA} のイベント Create のプロファイル通知は失敗しました。

→ システム運用上問題ありません。

イベントID : 1015

ソース : Microsoft-Windows-Security-SPP

種類 : 警告

説明 : HRESULT の詳細情報。

返されたhr = 0xC004F022、元のhr = 0x80049E00

→ ライセンス認証後に登録されていない場合は、システム運用上問題ありません。

【?】 Windows Server 2008 のインストールを行うと、以下のようなシステムイベントログが登録される場合がある

イベントID : 134

ソース : Microsoft-Windows-Time-Service

種類 : 警告

説明 : 'time.windows.com,0x9' での DNS 解決エラーのため、NtpClient でタイム ソースとして使う手動ピアを設定できませんでした。15分後に再試行し、それ以降は再試行間隔を 2倍にします。

エラー :Hote inconnu. (0x80072AF9)

イベントID : 263

ソース : PlugPlayManager

種類 : 警告

説明 : サービス 'ShellHWDetection' は停止する前に、デバイス イベント通知の登録解除を行っていない可能性があります。

イベントID : 7000

ソース : Service Control Manager

種類 : エラー

説明 : Parallel port driver サービスを、次のエラーが原因で開始できませんでした: '指定されたサービスは無効であるか、または有効なデバイスが関連付けられていないため、開始できません。'

イベントID : 15016

ソース : Microsoft-Windows-HttpEvent

種類 : エラー

説明 : サーバー側認証用のセキュリティ パッケージ Kerberos を初期化できません。データ フィールドにはエラー番号が格納されています。

→ システム運用上、問題ありません。

[?] Windows Server 2008 のインストールを行うと、以下のようなアプリケーションイベントログが登録される場合がある

イベントID : 63
 ソース : Microsoft-Windows-WMI
 種類 : 警告

説明: プロバイダ Ncs2 は LocalSystem アカウントを使うためにWindows Management Instrumentation 名前空間 Root¥IntelNCS2 に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

プロバイダ IntelEthernetDiag は LocalSystem アカウントを使うためにWindows Management Instrumentation 名前空間 Root¥CIMv2 に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

プロバイダ WmiPerfClass は LocalSystem アカウントを使うためにWindows Management Instrumentation 名前空間 root¥cimv2 に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

→ システム運用上、問題ありません。

[?] Windows Server 2008 のインストールを行うと、次のイベントがシステムイベントログに記録される場合がある

イベントID : 10
 ソース : VDS 動的なプロバイダ

説明: ドライバからの通知を格納するが、プロバイダに失敗しました。仮想ディスクサービスを再起動する必要があります。hr = 80042505

→ 詳細については次のMicrosoft 社のWeb サイトを参照ください。
<http://support.microsoft.com/kb/948275/ja>

[?] Windows Server 2008 のインストールを行うと、次のイベントがシステムイベントログに記録される場合がある

イベントID : 1021
 ソース : Microsoft-Windows-Security-Licensing-SLC
 種類 : 警告

説明: SLUINotify サービスを開始できませんでした。hr=0x80070424

→ ライセンス認証画面より、ライセンス認証を行ってください。ライセンス認証の手続きについては、「Windows Server 2008インストールサプリーメントガイド」を参照ください。

イベントID : 1534
 ソース : Microsoft-Windows-User Profiles Service
 種類 : 警告

説明: コンポーネント {56EA1054-1959-467f-BE3B-A2A787C4B6EA} のイベント Create のプロファイル通知は失敗しました。エラー コードは -2147023591 です。

→ ログオン時一度登録される場合がありますが、システム運用上問題ありません。

【?】 Windows Server 2003 x64 Editionsのインストールを行うと、以下のようなイベントログが登録される場合がある

ソース : LoadPerf
種類 : エラー
イベントID : 3009

説明 : サービス C:\WINDOWS\system32\ipsecprf.ini(C:\WINDOWS\system32\ipsecprf.ini) のパフォーマンスカウンタの文字列をインストールできませんでした。エラーコードはデータセクションの最初のDWORD です。

→ システム運用上、問題ありません。

【?】 Windows Server 2003 x64 Editionsのインストールを行うと、以下のようなイベントログが登録される場合がある

ソース : DCOM
種類 : エラー
イベントID : 10016

説明 : コンピュータ既定権限の設定では、CLSID{555F3418-D99E-4E51-800A-6E89CFD8B1D7} をもつ COM サーバーアプリケーションに対するローカル アクティブ化アクセス許可をユーザーNT AUTHORITY\LOCAL SERVICE SID (S-1-5-19) に与えることはできません。このセキュリティのアクセス許可は、コンポーネントサービス管理ツールを使って変更できます。

→ システム運用上、問題ありません。

【?】 Windows Server 2003 x64 Editionsのインストールを行うと、以下のようなイベントログが登録される場合がある

ソース : WinMgmt
種類 : 警告
イベントID : 5603

説明 : プロバイダ Rsop Planning Mode Provider は WMI 名前空間 root\RSOP に登録されましたが、HostingModel プロパティが指定されませんでした。このプロバイダは LocalSystem アカウントで実行されます。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。プロバイダのセキュリティの動作を確認し、プロバイダ登録のHostingModel プロパティを、必要な機能が実行可能な最小限の権限を持つアカウントに更新してください。

→ システム運用上、問題ありません。

[?] Windows Server 2003 x64 Editionsのインストールを行うと、以下のようなイベントログが登録される場合がある

ソース : WinMgmt
種類 : 警告
イベントID : 63

説明 : プロバイダ HiPerfCooker_v1 は LocalSystem アカウントを使うために WMI 名前空間 Root¥WMI に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

プロバイダ WMIProv は LocalSystem アカウントを使うために WMI 名前空間 Root¥WMI に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

→ システム運用上、問題ありません。

[?] Windows Server 2003 x64 Editionsのインストールを行うと、以下のようなイベントログが登録される場合がある

ソース : Service Control Manager
種類 : エラー
イベントID : 7011

説明 : Dfs サービスからのトランザクション応答の待機中にタイムアウト(30000 ミリ秒)になりました。

→ 再起動後にこのイベントが登録されていない場合、問題ありません。

[?] Windows Server 2003 R2をインストール中、Windows Server 2003 R2 DISC 2をインストールする前にサービスパックを適用した

→ Windows Server 2003 R2をインストール後、「システムのアップデート」または「Starter Packの適用」にてサービスパックを再適用してください。

[?] Windows Server 2003 R2の運用中、以下のようなイベントログが登録される場合がある

ソース : IPMIDRV
種類 : エラー
イベントID : 1001

説明 : IPMIデバイスドライバは、IPMI BMCデバイスがシステムでサポートされているかどうか判断しようとした。このドライバは、SMBIOSのType38レコードを検索できることでIPMI BMCを検出しようとしたが、レコードが見つからないか、レコードにデバイスドライバのバージョンとの互換性がありませんでした。SMBIOSのType38レコードが見つまっている場合は、イベントのDump Dateフィールドにこのレコードがバイナリ表示されます。

→ Windows Server 2003 R2において提供されている「ハードウェアの管理」を利用している場合、上記のイベントログが登録されます。
詳細な内容については、下記の「Windows Server 2003 R2で提供される「ハードウェアの管理」利用の手引き」を参照してください。

【?】 /3GBスイッチ使用時、OSが起動しない

/3GBスイッチ使用時、OSが起動しなくなる場合があります。

その場合は以下のURLを参照し、/uservaスイッチを使用してユーザーモードの領域を適切な値に調整してください。

<http://support.microsoft.com/kb/316739/ja>

【?】 システム起動時に、システムイベントログに次のような内容のエラー、および警告が記録される場合がある

イベントID : 11

ソース : iANSMiniport

種類 : 警告

説明:次のアダプタリンクは接続されていません。

Intel(R)~

イベントID : 13

ソース : iANSMiniport

種類 : 警告

説明 : Intel(R)~ がチームで無効化されました。

イベントID : 16

ソース : iANSMiniport

種類 : 警告

説明 : [チーム名]、最後のアダプタはリンクを失いました。

ネットワークの接続が失われました。

イベントID : 22

ソース : iANSMiniport

種類 : 警告

説明 : プライマリアダプタは次のプローブを検出しませんでした。

Intel(R) ~原因でチームが分割されている可能性があります。

- ネットワークアダプタでチームを設定した場合、システム起動時に上記のイベントログが記録されますが、LAN ドライバの動作上問題ありません。

SASコントローラについて

本機がうまく動作しない時や、管理ユーティリティが正しく機能しないときは次の点について確認してください。また、該当する項目があったときは、処理方法に従った操作をしてください。

[?] POST にて下記のようなメッセージが表示される（オプションROMのエラーメッセージ）

Expansion ROM not initialized

- ☐ CPUブレードのSystem BIOSにて本製品を実装したPCIスロットのオプションROM展開を無効にしてください。

[?] POST にて下記のようなメッセージが表示される（SASコントローラのメッセージ）

Adapter configuration may have changed, Reconfiguration is suggested!

- ☐ SASコントローラが搭載されているCPUブレードに本製品を新たに接続した場合、POSTにて上記のメッセージが表示される事がありますが、運用上は問題ありません。

[?] 本製品をCPUブレードに接続した後、DVD-ROMドライブからシステムをブート出来ない

- ☐ 「ユーティリティの用途」（50ページ）を参照し、SAS BIOSの設定を変更してください。

ESMPROについて

ESMPRO/ServerManagerについて

- CPUブレードに添付の「EXPRESSBUILDER」DVD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManagerインストールガイド」でトラブルの回避方法やその他の補足説明が記載されています。参照してください。

障害情報の採取

万一障害が起きた場合、次の方法でさまざまな障害発生時の情報を採取することができます。障害情報の採取については、CPUブレードに添付の説明書を参照してください。



- 障害情報の採取については、保守サービス会社の保守員から情報採取の依頼があったときのみ採取してください。
- 障害発生後に再起動されたとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのままシステムを起動してください。途中でリセットし、もう一度起動すると、障害情報が正しく採取できません。

保守ツール

保守ツールは、本製品の予防保守、障害解析、設定等を行うためのツールです。
保守ツールの使用方法については、CPUブレードに添付の説明書を参照してください。

保守ツールの機能

保守ツールではテープブレードに関して以下の機能を実行できます。


- **Test and diagnostics**

Test and diagnostics（システム診断）ではCPUブレード上で各種テストを実行し、本体の機能およびCPUブレード本体と拡張ボードなどとの接続を検査します。システム診断を実行すると、CPUブレード本体に応じてシステムチェック用プログラムが起動します。

移動と保管

テーブレードやブレード収納ユニットを移動・保管するときは次の手順に従ってください。


警告



本機を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリー、リチウムイオンバッテリーを取り外さない
- 電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

注意



本機を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 3人以下で持ち上げない
- 指定以外の場所に設置・保管しない
- 電源ONのままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない



重要

- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
本機を保管する場合は、保管環境条件（温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%）を守って保管してください（ただし、結露しないこと）。
- カートリッジを入れたままでテーブレードを移動・保管しないでください。衝撃が加わったとき、ドライブやカートリッジを傷める原因となります。

<ブレード収納ユニットにデバイスを搭載したまま移動・保管する場合>

1. 搭載しているすべてのCPUブレードおよびテーブレードの電源をOFFにする。
2. ブレード収納ユニットの電源をOFFにする。
3. ブレード収納ユニットの電源コードをコンセントから抜く。
4. CPUブレードやブレード収納ユニットに接続しているケーブルをすべて取り外す。
5. 4人以上でラックからブレード収納ユニットを取り出す。
6. 4人以上でブレード収納ユニットに取り付けてあるハンドルを持って運ぶ。
7. ブレード収納ユニットに傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

<ブレード収納ユニット内のデバイス単体を移動・保管する場合>

ハードウェア編で記載されている取り付け/取り外し手順に従ってデバイスをブレード収納ユニットから取り外し、購入時に入っていた袋や梱包箱に入れて、移動・保管してください。



重要

本機および、内蔵型のオプション機器は、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。本機の移動後や保管後、再び運用する場合は、使用環境に十分なじませてからお使いください。

ユーザーサポート

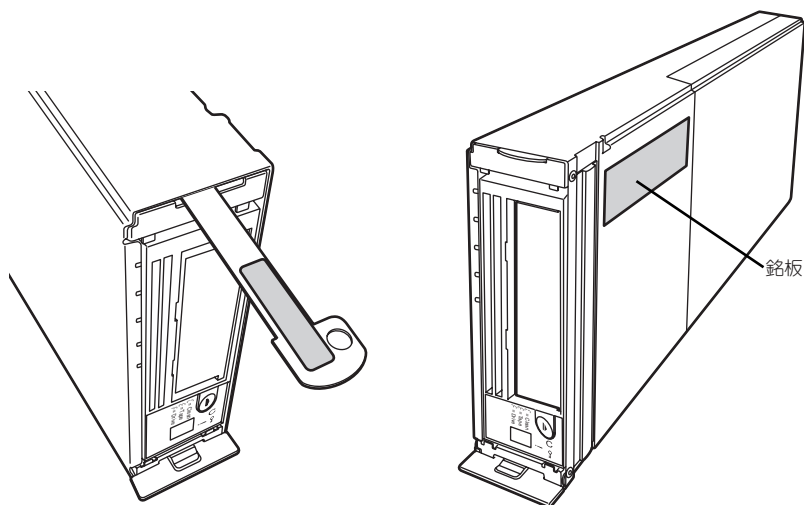
アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

保証について

本製品には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。



- NEC製以外（サードパーティ）の製品、またはNECが認定していない装置やインタフェースケーブルを使用したために起きた本機の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機には製品の形式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された銘板が本機天板およびスライドタグに貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致しないと、本機が保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡ください。



バッテリーの保証について

本機には、システム用のバッテリーが内蔵されています。

- ー システム用のバッテリー

本バッテリーの保証期間は5年です。

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、以下の手順を行ってください。

1. 電源コードおよび他の装置と接続しているケーブルが正しく接続されていることを確認します。
2. 「障害時の対処（62ページ）」を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
3. システムを運用するために必要となるソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
4. 市販のウィルス検出プログラムなどで本製品をチェックしてみてください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際に本製品のランプの表示やディスプレイのアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先については、付録B「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。



本機は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできません。ご了承ください。

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

- ☐ 保証書
- ☐ ディスプレイに表示されたメッセージのメモ
- ☐ 障害情報（80ページに記載している情報などが含まれます。障害情報は保守サービス会社から指示があったときのみ用意してください。）
- ☐ 本体・周辺機器の記録

補修用部品について

本機の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスは弊社の保守サービス会社、および弊社が認定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合に合わせてご利用いただけます。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて2種類用意しております。

保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様の障害コールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、装置に応じた一定料金で保守サービスを実施させていただくもので、お客様との間に維持保守契約を結ばせていただきます。さまざまな保守サービスを用意しています。詳しくはこの後の説明をご覧ください。
未契約修理	お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

NECでは、お客様に合わせてさまざまな契約保守サービスを用意しております。サービスの詳細については、「PC サーバサポート情報（<http://support.express.nec.co.jp/pcserver>）」をご覧ください。



- サービスを受けるためには事前の契約が必要です。
- サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。

情報サービスについて

本製品に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター
TEL. 03-3455-5800（代表）

受付時間／9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

インターネットでも情報を提供しています。

<http://www.nec.co.jp/>

『NECコーポレートサイト』：製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載！

<http://club.express.nec.co.jp/>

『Club Express』：『Club Express会員』への登録をご案内しています。Express5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介します。

<http://www.fielding.co.jp/>

NECフィールディング（株）ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。

